

# 令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

## 事業実施報告書

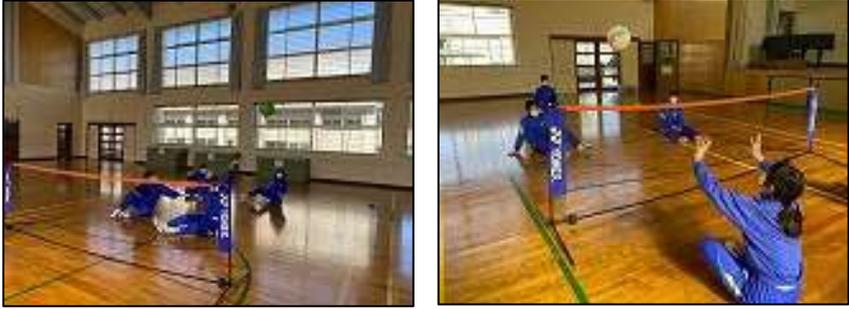
- |     |                                    |
|-----|------------------------------------|
| I   | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び   |
| II  | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成           |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築        |
| IV  | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V   | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成      |

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 宮津市立栗田中学校 】

<スポーツ庁テーマ>

|               |   |
|---------------|---|
| 1 実践テーマ       | 【 I・III 】   |
| 2 実施対象者       | 1年生 17名<br>2年生 20名<br>3年生 23名   |
| 3 展開の形式       | (1) 学校における活動<br>① 教科名 ( 保健体育 ・ 道徳 )<br>② 行事名 ( )<br>③ その他 ( )<br>(2) 地域における活動<br>① イベント名 ( )<br>② その他 ( )   |
| 4 目標<br>(ねらい) | パラリンピアンから自己決定を通じて力を発揮できることや諦めずに限界を突破しようとする意志の強さを感じ、また、多様性を認め、創意工夫をしていくことの大切さを学ぶことで、自分の生き方を考えさせる。  |
| 5 取組内容        | (1) オリンピック・パラリンピックについての講義<br>◎1月12日～18日 保健体育 各学年2時間<br>(2) オリンピック・パラリンピックを題材とした、国際理解について理解を深めさせる道徳の授業<br>◎1月27日 道徳 各学年1時間<br>(3) パラリンピック競技の体験<br><シッティングバレー・ボッチャ><br>◎1月15日～28日 保健体育<br>シッティングバレー 各学年2時間<br>ボッチャ 各学年1時間 |
|               |    |

|                     |  |
|---------------------|--|
|                     |  <p style="text-align: center;">＜シッティングバレーの様子＞</p>  |
| 6主な成果               | <ul style="list-style-type: none"> <li>• パラリンピックについて自分で調べるなどして、興味や関心が高まり、パラリンピックの意義について考えることができた。</li> <li>• パラリンピック競技の体験を通し、身体が不自由な人々が参加できるための様々な工夫に気付くとともに、選手の競技に対する思いを感じる事ができた。</li> <li>• 自国だけでなく、他国について考えたり、障害のある人たちのことを考えたりして、多様性を認め、共生社会について考えるなど道徳的実践意欲を向上させることができた。</li> <li>• オリンピック・パラリンピックの学習をしたことで、自分達も大会などを支えることができることを学んだ。また、そのことによって、オリンピック・パラリンピックを身近に感じることもできた。</li> </ul> |
| 7実践において工夫した点(事業の特色) | <ul style="list-style-type: none"> <li>• パラリンピックの意義だけでなく、競技種目や選手についても考えを深め、パラリンピアン意志の強さを考えさせた。</li> <li>• 自分で考える場面と、他者の意見を参考にさせる場面を設け、多角的な見方や考え方に気付かせる授業展開をした。</li> <li>• パラリンピック競技の体験では、既存のルールで体験するだけでなく、ルールにどんな工夫を加えると、多様な人たちがより参加しやすくなるかを考えさせた。</li> <li>• オリンピックだけでなく、パラリンピックにも興味を持つことができる授業展開とした。</li> </ul>  |
| 8主な課題等              | <ul style="list-style-type: none"> <li>• 今年度は中止としたが、パラリンピアン講師依頼が難しく、予算がなくなるようであれば、さらに講師の招聘が困難になる。</li> <li>• 最近はテレビやCMなどでパラリンピックに関する映像を見ることが増えたが、実際の競技を見る機会が少ないため、イメージさせることが少し困難だった。</li> <li>• 現在のコロナ禍において、様々な大会の中止や規模の縮小がされる中で、オリンピック・パラリンピックを身近に感じる事ができない生徒もいた。</li> </ul>  |
| 9来年度以降の実施予定         | <ul style="list-style-type: none"> <li>• これまでパラリンピアン講師の講話を聴くことで、自分の生き方についても考えることができた生徒がいたため、この事業の意義は大きい。そのため、来年度はパラリンピアン講師の話を聴く取組を実施したいと考えている。</li> </ul>  |